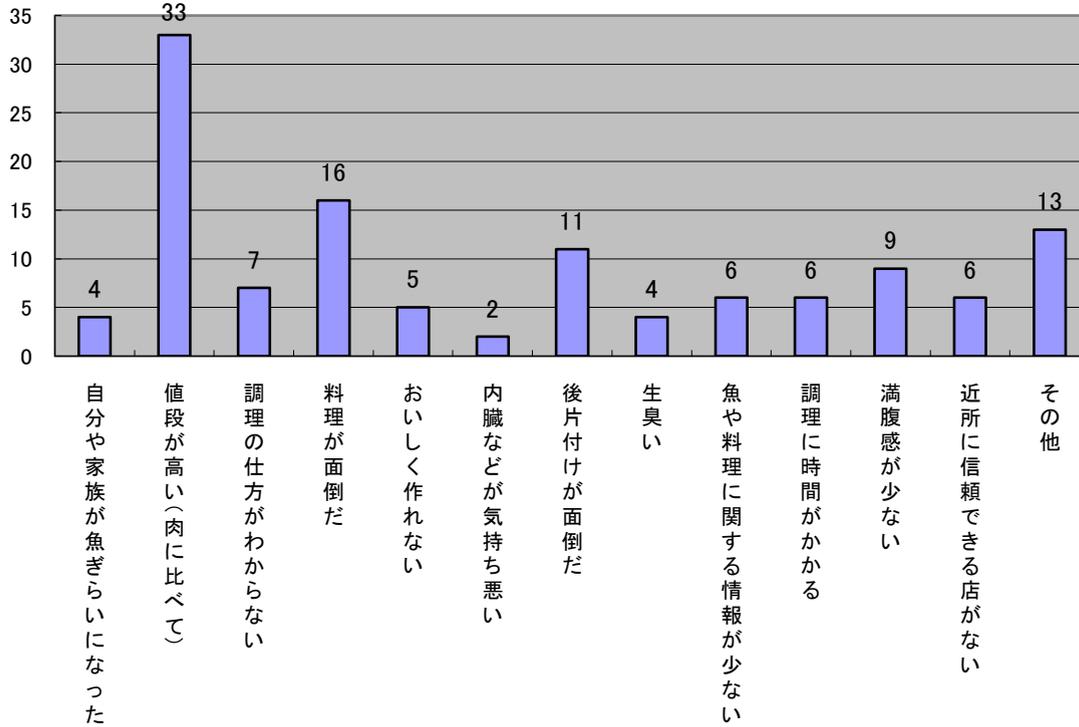
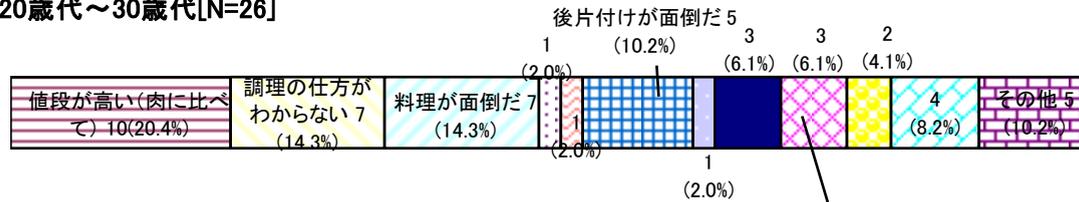


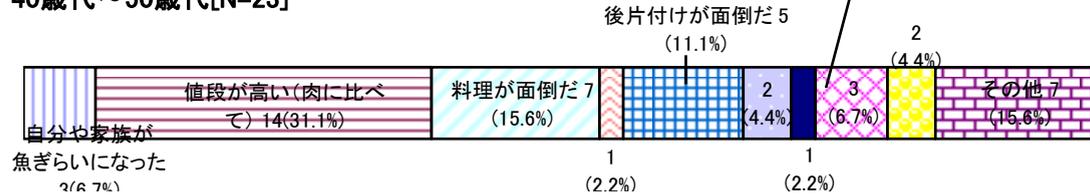
質問. 魚を食べる回数(量)が「少し減っている」「大幅に減っている」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？[N=64]



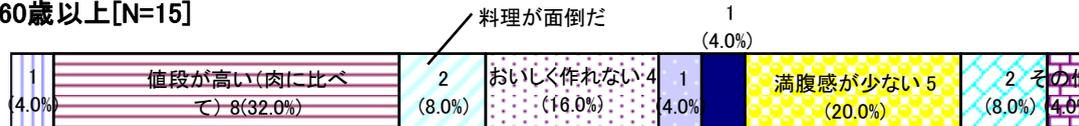
20歳代～30歳代[N=26]



40歳代～50歳代[N=23]



60歳以上[N=15]



- 自分や家族が魚ぎらいになった
- 料理が面倒だ
- 後片付けが面倒だ
- 調理に時間がかかる
- その他
- 値段が高い(肉に比べて)
- おいしく作れない
- 生臭い
- 満腹感が少ない
- 調理の仕方がわからない
- 内臓などが気持ち悪い
- 魚や料理に関する情報が少ない
- 近所に信頼できる店がない

【設問別の傾向】

魚を食べる量が減った理由としては、「値段が高い」ことが最も多く、次いで「料理や後片付けが面倒」との意見があげられており、特に後者については、前述のとおり、イメージ上は「どちらでもない」と感じられているものの、実際の台所では、切実な問題となっていることがうかがえる。

この「料理や後片付けが面倒」という点を世代別に見ると、50歳代までの家庭では、「調理に時間がかかる」も含め、調理行為や手間に対する不満があげられているものの、60歳以上においては、それがほとんど出ていない。

一方で、60歳以上の家庭では、「満腹感が少ない」「おいしく作れない」といった実際に調理して魚を食べていることを前提とする理由が36%を占めているものの、これについて50歳代以下では、少数意見にとどまっている。

また、「年配者ほど魚を多く食べている」ことについては、魚好きであることに加え「値段が高い」という生活に直結する理由が世代が進むほど多いことから想像できる。